

第279回 謳粋会の記

令和6年1月11日(木) 18:30~

謹賀新年 令和6年元旦は快晴で風も弱く穏やかな始まりとなった。干支は「甲辰(きのえたつ)」成功という芽が成長していき、姿を整えてゆく年になるそうだ。

お屠蘇気分でご過ごしていた午後4時10分頃、緊急地震速報がテレビで、携帯でうねりを上げた。能登地方に震度7の地震があり、広範囲ではげしいゆれに見舞われた。東京でもその揺れを感じた。テレビ全局が地震報道を始めた。津波被害も発生し沿岸部では住宅が流され、輪島では火災が起き、200棟が焼失した。



地震の余震が続く2日午後5時47分千歳発羽田行きのJAL516便が海上保安庁の飛行機とC滑走路上で衝突し両機は炎上した。日航機の乗客乗員379人は奇跡的に全員脱出できた。海保機は機長以外5人が死亡した。多くの便が欠航となり帰省客などが大混乱となった。

「能登半島地震」の石川県内では、213人が死亡、安否不明者が37人、住宅被害が少なくとも1918棟、断水が58,900戸、停電が13,700戸、携帯電話が利用できない地域も多い。救援活動が続いているが、まだ被害の全容が把握できていない。避難所で新型コロナ、インフルエンザが広がり始めた。



今回のお店は小野さんご紹介の140年前(明治8年)創業の上野「韻松亭」である。上野公園の桜並木中央付近に歴史ある日本家屋がお店である。玄関を入ると下足番が預かり札を渡してくれた。ケヤキの床板、階段を迷路のごとく案内され会場にたどり着いた。床の間付の部屋で二方の大きな窓からは木々のライトアップを眺め旅館に佇むようである。参加者は17名。ゆったりと2列に座卓が配されている。座椅子もあり何人かがその世話になる。今回は「宴会おまかせ」飲物込み懐石料理を楽しむ。飲物は瓶ビール、日本酒(冷酒・燗酒)、焼酎(芋・麦)、ワインもある。

開宴前に林さんから来週チェコ倶楽部公演「エヴァ・ミクラスリサイタル」の案内があった。定刻に先付(菜の花・海老・玉子・昆布巻・数の子ぬたなど)が運ばれビールがグラスに注がれた。今回初参加の一戸さん(S41)に乾杯をお願いした。まだビールが残っていたが燗酒を注文した。一合以上入る「ちろり」が運ばれてきた。ちろりは盃に少し注ぎづらかった。暖かいお酒が喉を潤す。お酒は「せんつる」本醸造だそうだ。寒い日の燗酒は旨い。鰯の粕汁、お造り(マグロ・真鯛・ゆば)、赤飯のからすみかけ、サワラの幽庵焼き、野菜のみぞれ煮と続いた。盃は進み料理はどれも美味しい。20時近く大きい土鍋で鰯カマご飯が運ばれてきた。お披露目の後、各自にご飯と香の物、味噌汁が供された。デザートは黒蜜かけわらび餅・アイスクリームとなった。時計が8時45分を指した頃、部屋で全員写真を撮った。参加者(敬称略・順不同)大野・林・川俣・後藤・長戸・山村・安井・一戸・永井・鈴木(良)・小野・花上・桜井・永沼・

浅野・鈴木(正)・廣瀬の17名

280回謳粋会は令和6年2月8日(木)に開催される。

<廣瀬記>